

◆ 行事報告 ◆

○7月5日(木) 幼保連絡会

児童発達支援センター歩路、ガーデンキッズセルク・トリアを利用している子ども達が通っている幼稚園・保育所との連絡会を実施しました。当日は21園、31名の先生方にご参加いただき、午前中は療育見学、午後から臨床発達心理士の松本による講話、事業所説明・見学会、就学を控えた年長児が所属する園を中心に個別面談を実施しました。個別面談の時間も限られていきましたが、情報共有を図る貴重な時間となりました。

○7月11~12日 宿泊旅行：熊本

あさひが丘利用者7名、職員3名で行つきました。移動は新幹線を使い、あっという間に着きました。イルカウォッチングでは沢山のイルカに出会うことができ、釣り堀で魚も釣りました。宿では温泉と豪華な食事を堪能し、とても楽しい旅行になりました。

○7月14日(土) 第9回鹿児島県知事杯

知的障害者フットサル大会

今年はチエスト小鶴ドームにて開催されました。あさひが丘学園からは13名、旭福祉センターからは6名の利用者が参加しました。少ない練習の中、それぞれが全力を出し一生懸命、協力して試合に臨みました。昨年準優勝の一部では3位、2部では見事初優勝を飾る事が出来ました。MVPも優勝チームのGKが見事頂き、大満足の結果となりました。

○7月14日(土) 春山地区夏祭り

今回初めて児童部が踊りを披露しました。詳細はP2をご覧下さい。

○7月21日(土) バーベキュー大会

あすもねバーベキューを実施しました。日頃の仕事疲れを利用者、職員共に労いながら、仕事への意欲をさらに高めるための楽しい時間となりました。暑い中の実施でしたが、準備の段階からみなで気分を高め、美味しいお肉やあにぎり、差し入れのスイカを思う存分楽しみました。

○7月22日(日) あさひやワークショップ

詳細はP2をご覧下さい。

○7月22日(日) GH暑気払い

グループホームあさひが丘では、鹿児島県庁展望レストラン「ラテラス」にて暑気払いをグループホーム利用者35名、職員19名、計54名で行いました。景色もよく、美味しい料理やお酒、ジュース類を賑やかに楽しみました。

○7月22~23日、27~28日 児童部夏季キャンプ

夏休みに入り、2グループに分かれて北薩広域公園へキャンプに行ってきました。仲間とのBBQやスイカ割りはとても楽しく、夏の良い思い出になりました。

○7月28・29日 入所利用者キャンプ

旭福祉センターでは入所利用者がキャンプに出かけました。場所はいちき串木野市にある観音ヶ滝市民の森です。夜はバーベキューや映画鑑賞を楽しみました。天候にも恵まれ、みなさん遊び疲れてくたくなつて帰ってきました。

○8月8日(水) 放課後等デイサービス学校連絡会

マルヤガーデン内での学校連絡会を開催しました。6校より8名の先生方がご参加下さい、先生方と当法人職員で意見交換を行いました。

八

月

九

月

○8月11日(土) 家族総会

旭福祉センターでは家族総会を開催し、決算報告や家族代表者委員の役員改正を行いました。また、担当職員と保護者の面談では意見交換等をすることができました。暑い中多数の方にご参加いただきました。お集まりいただきありがとうございました。

○8月18日(土) サマーナイト大花火大会

鹿児島港本港区で開催されたかごしま錦江湾サマーナイト大花火大会にグループホームあさひが丘から15名、旭福祉センターから6名の利用者が出かけました。今年は明治維新150周年記念ということもあり、沢山の人で賑わっていました。

○8月19・26日 ベーカリー楓 パン作り体験

詳細はP2をご覧ください。

○8月21・27日/9月5日 ピアガーデン

旭福祉センターでは入所利用者とピアガーデンで暑気払いをしました。会場はカフェNODOKAです。この日のための特別コース料理に舌鼓をうちました。

○8月23日(木)28日(火) 不審者対応訓練

あさひが丘学園地域生活支援センターでは今年も西警察署の方をお招きして指導を頂きました。訓練にあわせて準備をしてきましたが、実際に始まると思定していないような場面もあり、状況に応じた対応の大切さを学びました。日頃から、いざという時のために意識を高めておきたいものです。

○8月26日(日) 緑ヶ丘夏祭り

旭福祉センターでは緑ヶ丘夏祭りに参加しました。ベーカリー楓の出店と、利用者5名が祭りへ出かけました。

○9月5~6日 宿泊旅行：志布志

あさひが丘利用者4名、職員2名で行つきました。イルカランドで可愛い動物のショーを音楽とともに楽しみました。夜は温泉と新鮮な海の幸を満喫できました。

○9月15・16・17日 ベーカリー楓感謝フェア

おかげさまでベーカリー楓は今年で9周年を迎えることができました。そこで、みなさまへの感謝を込めて3日間「感謝フェア」を開催し、トーストの店頭販売や特別価格でのパン販売をしました。たくさんの方にご来店いただき、ありがとうございました。今後ともベーカリー楓をよろしくお願いします。

○9月19日(水) 総合防災訓練

あさひが丘では伊敷分遣隊の協力のもと、夜間想定の避難訓練を実施しました。移動もスムーズに行きました。消火訓練では大きなホースで実際に放水すると、想像以上に圧力がかかり、良い訓練となりました。

○9月22日(土) 日中活動参観

あさひが丘、地域生活支援センターの日中活動参観に、今回多くのご家族に参加して頂きました。親子で一緒に活動する場面は、とてもいい雰囲気を醸し出します。ありがとうございました。

○9月23日(日) 鹿児島市地区ふれあいスポーツ大会

鹿児島国際大学フィールドハウスにて開催されました。今年はあさひが丘学園から40名、旭福祉センターから30名が参加しました。みなさん思い切り体を動かし、思い思いに楽しんでいました。

あさひが丘学園児童部の子どもたちも、今年初めて春山地区の夏祭り舞台でダンスを披露しました。子ども達と一緒に「ドラえもん」のダンスを踊ると決め、当日まで一生懸命練習してきました。発表当日、初めて緊張した表情がみられましたが春山地区の皆さんから手拍子等の応援もあり、子ども達も笑顔で楽しくダンスを踊ることができました。練習した成果を地区の皆さんに見てもらうことが出来、子どもたちにもと



伝統芸能「棒踊り」も、復活から二年目を迎え、一層磨きがかかつた舞から始まった祭りの会場は、幻想的な雰囲気をかもしだし、春山地区を活気付けていました。

「春山棒踊り保存会」による、奉納舞を行いました。あさひが丘の職員も参加している

でも良い経験の場となりました。りがとうございました。



第5回ベーカリー楓パン作り体験開催！

ベーカリー楓では8月19・26日の2日間パン作り体験を開催し、両日合わせて8組25名の方がご参加くださいました。

5回目の開催となりました今体験では、菓子パン＆クッキー作りをしました。

先生はベーカリー楓で働いている利用者のみなさんです！

生地の捏ね方をレクチャーしたり、クッキーの型抜きをして見せたり…と先生たちも大活躍でした！

パンやクッキーが焼きあがったときに、参加された方のたくさんの笑顔を見ることができ、こちらも喜ばしい限りです。参加された皆さん、ありがとうございました。



あさひやワークショップ。

7/22(日)に開催しました。今回は24名の方々が参加され、思い思いにレザーや陶芸作品を作成していただきました。



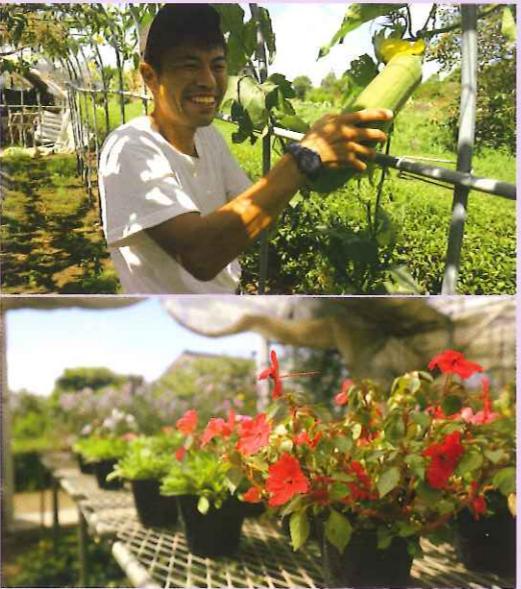
蔬菜(そさい)班にスポット

旭福祉センター 蔬菜（そさい）班の活動について紹介します。
そもそも「蔬菜」とは何かご存じでしょうか？

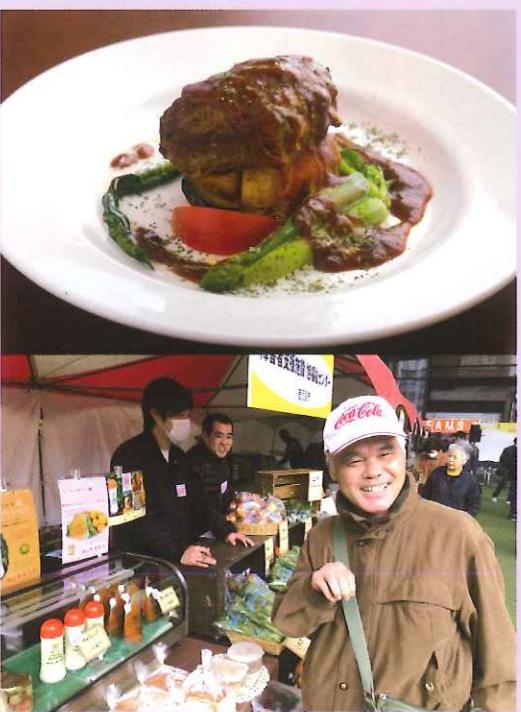
蔬菜とは本来は栽培作物を指す言葉ですが、今日では慣用的にも学問的にも「野菜」と同義となっています。つまり野菜を作っている作業班です。

野菜を作っている作業班です。蔬菜班は利用者16名、職員8名で四季折々の野菜や花苗の生産を行っています。

1年を通して、旬の野菜・季節の花苗を栽培、育成していくことで季節の移り変わりを感じながら、毎日丹精込めて育てています。



収穫した野菜は鹿児島市内のタイヨー8店舗の地産地消コーナーにて販売させていただいてあります。また、年2回開催しておりますふれあいバザーでの販売や、地域のバザーに出店したり、「ベーカリー楓」の店頭でも販売しております。旭福祉センターが直営している「Cafe NODOKA」において、前菜やパスタ、天ぷらなどの料理にも旭福祉センターで採れた野菜がふんだんに使われてあり、お客様から好評を頂いてあります。



「心の支え」

「心の支柱」

長男が特別支援学校へ入学したから、庭ほうきではわいたりします。

公園清掃で、はっぱとゴミがたくさんになつたら始末をしたりします。楽しいへんです。草をあつめます。樂しきです。天地返しは、砂場の砂をスコップでひっくり返すことです。

公園は四か所に行きます。伊敷団地第三公園と、すみれ公園と、ひまわり公園と、つつじ公園です。あつい時は水分は給とぼうしをかぶるようにしています。庭ほうきではわいたり、ゴミを拾つたりすることをもつと頑張つていきたいです。

地域生活支援センター保護者 福永 千佳子



三年目になりました。出産の前後は、今思い返してもバタバタとしていて、それと重なり長男が不安定な日々を過ごしていたので、「どうしたらよいものか」と悩んでいた時、「お母さん大変でしょう?」と度々お電話をいただけ、支援してくださいました。平成二十三年には次男も加わり、二人を預かっていただきことになりました。二人の性格は全く違い、苦労することも多い中、先生方が「関わっていて楽しいです」「可愛いです」など言つていただき、ホツとして嬉しく思い、それが心の支えとなりました。

長男が高等部に入つて初めての現場実習をあすもねでさせていただき、その頃からあすもねへの思いが熱く、今年の四月、思いが叶い働き始めました。マイペースでわがまままでのご迷惑をおかけすることも度々ですが、先生方が長男の気持ちに寄り添つてくれてくださるので今後も相談しながら過ごして参りたいと思います。

次男は中学二年生で我路、シユバル、ショートステイを利用していただいている。やる気の無さが欠点ですが得意な事、苦手な事を教え

うぞよろしくお願ひします。

と暮らしており、幸せ者だなど思いません。そして、私たちも癒しをもらつています。

ここ最近は猫ブームであり、猫を飼つたり、猫カフェなどに行く人も多いのではないかでしょうか。ただ、その猫ブームの陰で悲しくなるようなことも起こっています。鹿児島の廃業した猫カフェに放置された猫たち、飼えなくなつた、子猫を産んでしまつたということで捨てられてしまう猫たち。そして致し方なく殺処分されてしまつてているという悲しい現実があります。

しかし、少しでもそんな動物たちを救おうと活動されている人々もあります。そんな人たちの手助けになります。私も微力ながら支援をしています。ペットはモノではありません。ペットを飼うということは命を預かること、一緒に生きることだと思います。私たち夫婦にとつて二匹の猫はかけがえのない家族の一員です。その存在を命を全うするまで大事に守つていきたいと思います。

「家族の一員」

 地域生活支援センター職員
外薦 翔平

ご支援下さる先生方に感謝しながら二人の息子が今後ともお世話になりました。それぞれが楽しく日々成長していく様子をよろしくお願いします。

したり、喧嘩をしたりと猫らしい生活を送っています。朝五時になると、ご飯をよこせと私の背中に飛び乗り、起こしに来てくれ、帰宅すると玄関で出迎えてくれます。暑い日も寒い日も冷暖房が効いた部屋でのびのびと暮らしており、幸せ者だなと思います。そして、私たちも癒しをもらっています。

「公園清掃」

旭福祉センター利用者
江崎 拓朗

冬のまみち

